川でむすぶ

＜行事案内＞

①「小玉川沿いウォーキング」　11月25日（土）
②「川前秋の清掃」　11月26日（日）

＜事業報告＞

①他団体（百目鬼川をきれいにする会）との交流
②好間４小の学習支援、　③夏井小の学習支援、　④パルシステム学習支援、
⑤小川町高萩地区学習支援、　⑥河口親水公園草刈り・ひょうたん島清掃

＜寄稿文＞　夏井川の思い出(4)　農家にとっての恵みの川

＜行事案内①＞　秋の小玉川ウオーキング

「ロマンチック街道」を行く

いわきが誇る小玉川沿いの紅葉に彩られる「ロマンチック街道」をウォーキングしませんか。往復５ｋｍ程度です。夏井川水系小玉川の良さを発見しましょう！

◇日時：平成２９年１１月２５日（土）午前８時４５分集合
◇集合場所：小玉ダム管理事務所駐車場
◇行動計画：[９時]出発～小玉第２ダム(最奥)～戻り昼食～湖畔散策～[２時頃]解散
◇各自準備：昼食、防寒具、歩きやすい靴と服装
※小雨決行です！！！

＜行事案内②＞　川前秋の清掃

夏井川をきれいにしてみま専科

中流域で毎年秋（１２月初頃）と春（３月末頃）に実施している活動です。川前はとても広くて人手がほしいです。是非皆さまの応援をお待ちしています。

◇日時：平成２９年１１月２６日（土）午前８時３０分集合
◇集合場所：川前駅前
◇行動計画：２時間くらいで終わります
※小雨中止です！！！

報告①　　益子町「百目鬼川（どうめきがわ）をきれいにする会」との交流

佐藤　雅子

平成 29 年７月１日（土）、栃木県益子町「百目鬼川（どうめきがわ）をきれいにする会」のみなさんがバス１台でやってきました。その日は地元の好間第一小学校を「夏井川流域住民による川づくり連絡会」が支援することになっていましたが、あいにくの小雨模様、好間一小の行事は中止となり、私たち夏井川の会員は百目鬼川の会のみなさんを案内することになりました。

◆百目鬼川の会のメンバーは、小学生、中学生から高齢者までの幅広い年代です。まず好間川松坂つり橋のところでお迎えしてから、その下で好間川の水質分析（パックテスト）や水生昆虫の採取をしました。パックテストはみなさんが初めての経験だそうです。

◆よつくら道の駅で昼食をとってから、夏井川の河口閉塞状況とその先の太平洋をバスで移動しながら眺めてもらい、河口公園に行きました。地元の富岡さん、園部さんに投網をやっていただき、みなさんがその技に感動していました。学校支援でも富岡、園部のご両人にはいつもご協力いただいていて、感謝しています。実際の川でウナギがドウにかかっては喜び、カニ釣りに夢中になってしまうのは学校支援の時も同じ、益子のみなさんも釣り糸とカニ穴の水辺を楽しんでいました。捕れたウナギを喜んで益子町に持って帰る方もおられました。

◆栃木県は海がない県です。豊間の塩屋埼灯台下では、年配者は美空ひばりの歌碑のところで楽しみ、若い人や中学生はすぐさま砂浜を駆け下りて、太平洋の波と戯れていました。３・１１で津波が押し寄せた場所で、益子町の若い人たちが海で遊ぶ光景にホッとしました。

私たちの会の催しに小学生は参加してくれますが、中学生の姿を見ることはほとんどなくなっています。せっかく小学校で水生昆虫採りを体験しても、次のステップへ、川の魚や生態の面白さを伝えることがあまりありません。大人までのつなぎが中学生高校生での経験ではないかとかねがね私は思っていました。益子町の中学校では河川清掃のクラブ活動があるそうで、その中学生が夏井川との交流会に参加していたのでした。

小雨だったお天気も傘をさすほどでなく、小名浜のララミュウで百目鬼川の会のみなさんをお見送りしました。他のグループとの交流は新鮮な息吹が吹き込まれて、なお河川愛護活動にヒントを得たように思います。

好間川で水生生物を調査

松坂吊橋にて

どんな生きものがいたかな？興味津々

夏井川河口で、ボート乗り、カニ釣りを楽しむ

報告②

好間4小の学習支援

橋本孝一

好間4小の学習支援は、今年度が初めてです。支援対象は、3,4 年生 8 名。前後3回かけての支援となりました。NPO いわき環境研究室と連携した取り組みとなりました。

○第一回目（6 月 23 日 10:30～12:00）　～　最初に川に関する予備学習として、水と生活とのかかわり、水辺をいろいろな角度から見る方法等について、教室での説明。その後、学校近くの好間川の水辺に行き、“川原には植物が生えていますか？　ゴミが目につきますか？どんなにおいがしますか？”等、様々な角度から水辺の様子を観察し評価しました。

○第二回目（6 月 28 日 9:10～12:00）　～　学校の少し上流部にある好間川に入って、流れの速さや水温等を体感。グループに分かれて生きもの調査をしました。最初、恐る恐る川に足を入れていた子供たちもすぐに慣れ、川の中の生き物調査に、先生方も

熱中していたのが印象的でした。ヒゲナガカワトビケラ・ヒラタカゲロウ・ゲンゴロウ・ナベブタムシ・マダラカゲロウ等の他、エビやタモロコ等も見つけることができました。教室に戻って、水質分析（COD パックテスト、におい、透視度）に挑戦しました。改めて身近に流れている好間川のきれいさに納得していたようでした。

○第3回目（7 月 7 日 8:30～14:00）　～　好間川の水源地（雨降山）から河口まで、弁当持参で好間川を辿る旅。マイクロバスにて先ずは、水源地へ。山道を登りながら、途中の細い渓流を辿り、何か所かで水に触れたり、石の裏の生きものを調べたりしながら、水源に近づいていきました。時間の制約もあり、中腹で帰路に。バスは、一路、好間川沿いの国道 49 号線を下り、川中子地区で、夏井川に合流する様子を観察しました。さらに、一気に、河口まで。河口海岸では、太平洋を見ながらの昼食。波の音を聴きながらの昼食は格別だったようです。その後、河口の親水空間の水辺で、地元六十枚橋地区の富岡さん、園部さんが、投網の実演、うなぎの捕獲の様子を見せて下さいました。素手で、上手にウナギを掴んだ子もいました。カニ釣りも楽しみ、帰路につきました。

今回は、事前・事後に参加者からアンケートをとらせていただきました。アンケートからは、一連の学習を通じて、様々な角度から好間川を知ることができた、との感想が寄せられました。

報告③

夏井小の学習支援

佐藤　雅子

◇事前学習： 平成 29 年 6 月 20 日、いわき市立夏井小学校５年生に、川の成り立ち（橋本先生制作の夏井川流域のジオラマは子どもたちに好評でした）や、採取してきた夏井川の水質分析（パックテスト）などの事前学習を行いました。

◇源流～河口まで： 7 月 10 日には新川源流を見学しました。環境は日々、年々変わるもの、源流のまわりの森林が伐採され、前年行ったときに鬱蒼としていたところに明るい陽が差していました。

白水阿弥陀堂の前、白水川で水生昆虫採取。　アリオス前で水質分析をしてから、河口に向かい、沢帯公園の夏井川左岸堤防から本流・横川・太平洋を眺めました。　それから右岸側の河口公園に行き、地元の富岡さんの投網、カニ釣りなど、学校は時間厳守ですので分刻みのスケジュールです。でも川に入って水にふれ、カニ釣りをして歓声をあげる子どもたちの明るい元気な姿を見る時、この授業がやれてよかったといつも私は思います。

（上左）新川水源で。　　（上右）白水阿弥陀堂前の川原で。

（下左）新川アリオス前で、水質分析。　　（下右）夏井川河口親水空間で。

◇上下流小学校の交流：　いわき市の夏井小学校と小野町の夏井第一小学校の交流支援は７年になります。今年は９月７日、小野町立夏井第一小学校といわき市立夏井小学校との交流会を行いました。小野町の夏井第一小学校は夏井川千本桜のすぐ近くにあります。いわきの夏井小学校の５年生 18 人が、小野町の夏井第一小学校の５年生と６年生 17 人に迎えられ、双方の学校紹介や挨拶が交わされました。新しい友達との出会いが緊張と期待で、見ている私たちをもシャンとさせます。学校っていいところだと遠い昔を思い出しました。班編成してからバスで仙台平ドリーネ、入水鍾乳洞、菅谷駅近くの分谷水（分水界）を見学した後、また体育館に戻り仲良くなった友だちと昼食、午後からは学校前の夏井川で水生昆虫採取、体育館で水生生物の分類と水質分析をしました。たくさんのことを学んでもらいたいのですが、時間が足りなくて、子どもたちにわかってもらえたかと気がかりです。

夏井川水源（阿武隈ドリーネにて）

入水鍾乳洞の水に触れる

夏井１小体育館で楽しい昼食

夏井１小前の夏井川で

毎年学習支援をしていますが、毎年違う子どもたちです。支援者としては、去年やったからいいか、とか、またの機会にやろうという考えは許されません。もしかしたら「川」を知らずに人生を過ごす人が多くなるのではないかと心配します。最近の子どもたちは「川に入る」環境にないので、こういう学習支援の時こそ機会を逃さず体験してもらいたいと切に願います。そして流域内の子どもたち全員に夏井川を知ってもらいたいです。

（今年の交流事業は、NPO 法人いわき環境研究室との共催で実施しました。）

報告④

パルシステム学習支援

阿部　孝男

パルシステム環境委員会主催の「パルシステム親子水辺の観察会 in 夏井川」が、7 月 9 日（日）に小川公民館で約３０名が参加して行なわれ、当会で支援を行いました。

初めに公民館内で水質分析を行い、夏井川本川の小川公民館前の水と他の川の水質と比較するため、同じ夏井川水系の支流「加路川（夏井川合流前)」「新川（アリオス前)」「好間川（松坂つり橋)」の全部で４ヶ所の川から採水し、それぞれの水について COD パックテストや、透視度、導電率などを参加した子供たちや保護者の方々に計測し記録して頂きましたが、昨年参加された子供たちもいましたが、初めての子供たちがほとんどで、川の水の水質が分かることに興味深く慎重に行っていました。

続いて公民館前の夏井川の河原に出て水生生物調査も行いましたが、子供たちは直接川に触れるというのは機会がないせいか水生生物を見つけたり水にぬれたりして子供たちは大はしゃぎでした。

水生生物に続き、川での水遊びは昨年に続きみなさんお楽しみのアクアボールの登場です。

子供たちは心待ちにしていたようで順番が来るのを楽しみに待ってこちらも大喜びでした。

恒例の川に入るときの安全教室も事前に行い、当会スタッフによる安全管理も万全にしてお粉あっています。

その後、再度公民館に戻って環境学習講座行い終了しました。

水質調査の様子

水生生物調査の様子

水生生物調査の様子

アクアボール

今回の水辺の観察会では、パルシステムさんのコマーシャル撮影があり、観察会や川遊びの様子が８月から１０月までテレビで天気予報時に放映されていました。

ご覧になった方もいたかと思います。

支援に参加されたスタッフのみなさんお疲れさまでした。

報告⑤　小川町高萩地区学習支援

阿部　孝男

平成１９年より行っている小玉川の水質調査と水生生物調査も今年度で 11 回目を迎え、８月６（日）に行ないました。

小玉川の調査箇所は高萩地区の１ヶ所でしたが、他の川の水質と比較するため同じ夏井川水系の支流「好間川（北目）」「新川（アリオス前）」そして「夏井川本川（鎌田）」の全部で４ヶ所の川から採水し、それぞれの水について COD パックテストやアンモニア、透視度、導電率などを計測しました。

小玉川の 11 年間の水質の変化は下の表とグラフに示すように、COD 値は他の川と比較するとやや良い傾向にあることがわかります。

調 査 地 点 位 置

COD の変化

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
小玉川	7	8	7	5	7	6	4.5	3	5	3	3
好間川		5	6	6	6	4.7	6	6	4	4	5
新　川		8	8	7	8	6	8	3	7	8	7
夏井川		3	7.5	6	8	5	7	3	5	5.5	4

川の水質の状態は日々（時間帯によっても）変わるため、一時的な水質を判断する水質試験の他に、川の中に長い期間棲んでいる生物の調査を行ないました。

とれた生物のほとんどは「カワゲラ」「ヒラタカゲロウ」「ナガレトビケラ」など、きれいな水にすむ指標生物の他、指標生物以外でもきれいな水にすむ生物でした。

この結果からも小玉川の水はきれいであることが判断されますが、少しきたない水に棲む生物もまだ確認され、生活排水などの影響を受けていることもわかりました。

小玉川でとれた水生生物

水質階級Ⅰ（きれいな水に棲む生物）

・ヒラタカゲロウ、・カワゲラ、・ヒゲナガカワトビケラ、・ナガレトビケラ、など

水質階級Ⅱ（ややきれいな水に棲む生物）

・ヤゴ、・ヒラタドロムシ

水は私たちが生きていく上でかけがえのない“命の水”です。川の汚れの原因は、私たちが使ったり飲んだりした水が台所やお風呂・トイレから流れていく“生活排水”がほとんどで、私達の日常生活での心がけで川はきれいになっていきます。

学習後はみんなでアクアボールを楽しみました。

水質分析の様子

水生生物調査の様子

アクアボール

報告⑥　　河口親水公園草刈り・ひょうたん島清掃

田中博文

毎月第一土曜日は、夏井川河口右岸の親水公園（パターゴルフ場の奥）の草刈りを行なっています。４月に入ると草の伸びが目立つようになり、ひと月後にはすっかり元通りになっています。雑草は一日で１．５ｃｍ伸びるそうで、そのたくましさには脱帽です。範囲が広いため、毎回どこかは刈り残しがあります。草刈機以外でも親水階段の清掃、ゴミ拾いなど色々とすべきことはありますので、皆様の参加をお願いしたいです。普段体を動かさない私にとっては、大事な健康づくりと思い汗かきつつ作業しています。

※小雨決行ですが本降りは中止です。（１０／７中止でした：連絡不足で申し訳ありません）

草刈り①

草刈り②

また、８／１１日は新川ひょうたん島（アリオス裏）の清掃も行ないました。冬期間は草が伸びないため河口ではなくひょうたん島清掃を行ないきれいな状態でしたが、さすがに８月ともなると周りに草が伸び、あまりにもひどい状況でしたので、毎月第一土曜日以外に不定期開催として実施しました。河床の泥は栄養豊富のようで草丈が２ｍにもなり、泥も相当堆積していましたが、何とか少人数の１回活動できれいにできました。

１１／１現在では台風２２号の影響で水没しており、今後様子を見て清掃時期を判断します。

清掃前

清掃後

【次回予定】１２／２・２／３・３／３：新川ひょうたん島

【寄稿文】　夏井川の思い出(4)

農家にとっての恵みの川

阿部 武市

終戦後の頃、食糧はじめその他の生活用品が非常に不足して苦しい時代がありました。私は、当時、新制中学・高校生の「頃でした。私の家は、農家で、米や野菜を栽培しておりましたので、食べ物に不足することはありませんでした。

しかし、農作業には肥料が必要です。そのため、草刈をしたり稲藁堆肥をつくったりしましたが、間に合いません。　汚い話ですみません。当時は、今のような水洗便所は無くて、どこの家も汲み取り式の便所でした。農家では、その「ふんにょう」を肥料として使用していました。

どこの家でも汲み取り用の荷樽があり、平の町の家と汲み取り契約をして、年末には米を差し上げておりました。

汲み取った「ふんにょう」を肥料とするため、水で薄めるのに夏井川の水を汲んできます。それを肥料として麦や野菜にかけるのです。情けない話ですが、私は、一か月に２回は、高校に通う時、リヤカーに荷樽を積んで、「ふんにょう」を汲み取り、便所のお掃除等をしてきたものです。

夏井川川原の畑の作物は、夏井川の水と「ふんにょう」のお蔭で、元気に育つのです。夏井川の水は、農家にとって恵みの水です。時々、大水で暴れる時もありますが、大切にしたいものです。

＜世話人会の話題から＞

○「福島県浜通り地方流域水循環協議会」が立ち上がりました

「水循環基本法」(H26.7 施行) に基づき策定された「水循環基本計画」(H27.7) に準拠し、「健全な水循環の維持・回復に向けた取組の連携や協力について推進する目的で、地方自治体、国の出先機関、事業者、団体、住民等が一体となり、流域水循環協議会の設置と流域水循環計画の設置と流域水循環計画を策定する」ため、　去る 4 月 28 日、福島県では、「福島県水循環協議会」を立ちあげました。そこでは、福島県の地理的特徴を踏まえ、浜通り・中通り・会津地方の３方部毎の協議会を立ち上げ、活動が進められることになっておりました。

このことを受けて、10 月 19 日、「福島県浜通り地方流域水循環協議会」が立ち上がりました（事務局：福島県土地・水調整課)。

今後、当協議会では、浜通り地方の流域水循環計画を策定することとしており、「夏井川流域の会」としても、積極的な役割を担っていくこととなるものと思います。浜通りでは、東日本大震災による津波・原発事故の影響を受け、如何に健全な水循環を構築していくか、難しい面を抱えております。より多くの人たちが知恵を出し合い、地域性を配慮した「流域水循環」が具体化していくことを願うものです。

○学習支援のスタッフ登録して下さい

前号でもお願いしましたが、小学校や地域の子供会等からの「水辺の学習」支援の要請が増えつつあります。しかし、私たち支援者の人数が不足気味です。特に、学校の支援講座では、平日での対応となり、リタイアした会員が中心になり支援グループを組んで対応しているのが現状です。どなたか、お手伝い下さい。

支援可能な方、身近な世話人にお声をかけて下さい。

～～～　会員の皆様からの御寄稿をお待ちしております。～～～

会報　第４５号　　2017.11.3

発行：夏井川流域住民による川づくり連絡会
事務局：〒970-8017　いわき市石森2丁目9-17　永井　精
Tel.0246-88-7388